



稲高だより

静岡県立稲取高等学校

令和7年6月20日

第3号（通算180号）

まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

防災講座

5月28日（水）防災講座が行われました。

静岡県賀茂地域局危機管理課主査 鈴木智尋 様を講師に依頼し、災害図上訓練「DIG」を体験しました。ハザードマップを利用し、津波や土砂災害の危険箇所を確認しました。巨大地震が起きたときの町の様子を想像し、避難場所や防災倉庫の場所を地図に印を付け、どのように避難するのかを考えることができました。



防災講座を通して、東伊豆町にはどこまで津波が到達するのかや避難場所はどこにあるのかを地図やハザードマップを活用して知ることができました。稲取駅の下まで津波が到着し、役場や多くのホテルがなくなってしまうかもしれないと知り危機感を感じました。私は、将来救急救命士になりたいので、災害で多くの人の命を救うために、危険な場所を確認し将来に活かしたいです。
31HR 山本寛人（稲取中）



私が今回学んだことは、自分の命は自分で守る。そのためには、備えが大事だということを理解しました。そのため、被害に巻き込まれないためにも、避難場所・危険場所を確認し、ハザードマップなどを活用し家族と話し合い対策しようと思いました。また、高校生が災害時に必要とされていると聞き、避難場所で積極的に行動し、少しでも役に立てるよう頑張りたいと強く思いました。
21HR 松本優奈（河津中）



防災講座を受けて、南海トラフで予想される津波の高さと怖さ、震度について学ぶことができました。私の家はすぐ目の前が海であるため、急いで逃げられるように防災バッグを準備したいと思いました。また、家族と離れていた場合を考えて、集合場所などの話し合いが大切だと感じました。最近、大きな地震が来るなどの噂があるので常に準備して、自分や周りの人たちが安全でいられるようにしたいです。11HR 太田めい（下田中）

3年進路ガイダンス

希望に応じた進路実現ができるよう、5月22日（木）5・6時間目を利用して、3年生進路ガイダンスが行われました。進路志望に合わせて学校別説明会（進学）、企業ガイダンス（就職）の計12ジャンルから2講座を選択して聞くことができました。自分でしっかり計画を立てて、確実に前進してほしいです。



教育実習 5/12(月)~30(金)



教育実習生：鈴木 菜 先生（令和3年度卒業）

所属校：国際医療福祉大学 看護学科

教科（免許）：養護教諭免許

実習の感想：稲高生の皆さんはとても元気があり活発で、私の方が元気をもらっていました。教育実習で緊張していましたが楽しく学ぶことができました。

高校時代の思い出：高校生活で思い出に残っているのは文化祭です。私の時はコロナ禍で一般公開はできませんでしたが旗をみんなで描いたり、PVをみんなで作ったりしたことが楽しかったです。その結果最優秀賞をとることができたので特に思い出に残っています。

稲高生に一言：高校生活はあっという間に過ぎるので、一日一日を大切に過ごしてください！勉強も遊びも全力で、楽しい高校生活を送ってください。3週間ありがとうございました。

援農交流事業 ボランティア部

5月30日（金）援農交流事業に参加しました。地元の農家で、カーネーションの引き抜き作業を行ないました。引き抜きの仕事は、低い姿勢で力のいる作業でしたが、一生懸命取り組んでいました。抜いたカーネーションの株が次に作られるミカンの肥料になると聞き、農業の理解を深めることができ、やりがいを感じている様子が見られました。



令和7年度稲高祭

6月6日（金）、7日（土）稲高祭が行われました。一般公開に来校してくださいました保護者の皆様、地域の方々、本当にありがとうございました。

森校長先生 開会の挨拶より

昨年度末から生徒会中心に準備をしてくれてありがとうございました。一人ひとりが役割を果たしてチーム力を発揮し、ルールを守り楽しくそして感動できる稲高祭にしてください。一般公開では、おもてなしの心をもって地域の人たちにも「行って良かった！」と思ってもらえるようにしましょう。



令和7年度稲高祭振り返って…



生徒会長 33HR 鈴木玲央（稲取中）

私は稲高祭を終えて、改めて人の温かさを知ることができました。HR発表とHR販売では、終了時刻ギリギリまで毎日残って練習をしたり、その後も一緒に買い出しへ行ったりと貴重な時間を使って多くのクラスメイトと先生が協力してくれました。そこで私が感じたことは、関わった全ての人が嫌な顔一つせず協力してくれたことでした。そんな人の温かさに触れて、この学校でよかったと稲高祭を通して思いました。残りの学校生活も良い仲間たちと良い思い出を作りたいです。



HR発表 最優秀賞 33HR 名城世柊（河津中）

今年のHR発表で、私は動画の編集を担当しました。私は普段動画を編集することがないため、納めできるような動画が作れるか不安でした。しかし、先生を含めたクラス全員が協力してくれたおかげでHR発表の最優秀賞を受賞することができました。そして、この賞を受賞できたのは、仲間にも恵まれたからだと感じました。仲間と共に最高の思い出が作れたことを嬉しく思います。ありがとうございました。



総合グランプリ 32HR 山本颯姫（下田中）

まさか総合グランプリを取れると思っていなかったの、とても驚きました。PV、クラス旗、クラスTシャツどれも全員で協力し合いクラス一丸となって取り組むことができました。高校生活最後の稲高祭だったのでとても良い思い出になりました。

第34回黒船祭サーフィンコンテスト オープンクラス準優勝



13HR 渡邊渚亜（下田中）

私は、小さい頃からサーフィンを始め、大会でも良い成績をとっていました。ところが、中学生になってからは全く勝てなくなってしまいました。たくさん練習をしても予選で負けてしまい、何度もくじけそうになりました。しかし、この大会は雨が降るなどハードなコンディションで大変でしたが、決勝戦に行くことができました。あと一歩のところまで優勝は逃しましたが、準優勝という良い成績が残せたことはめちゃくちゃ嬉しかったです。これからも、この大会をスタートダッシュとして高校生活を楽しみながらサーフィンを頑張っていきたいです。